

令和5年9月 吉日

(各 位)

ダム工学会長

令和5年度 ダム工学会東北地区 現場研修会開催のご案内

拝啓、時下ますますのご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ダム工学会の令和5年度現場研修会を、下記のとおり、今年 CSG 打設の最盛期を迎える成瀬ダムで開催することと致しました。

皆様各位のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

- ・ **日 程** 令和5年10月30日(月) (日帰り)
(集合場所および集合時間は【別紙-1】参照)
 - ・ **見学場所** 東北地方整備局 成瀬ダム(秋田県雄勝郡東成瀬村樺川地内)
 - ・ **募集人数** 【別紙-1】のとおり
 - ・ **参加申込** ダム工学会 HP より申し込み(令和5年10月13日(金)〆切)
 - ・ **参加費** 一般※:(ダム工学会員 1,000 円、非会員 2,000 円) 学生:無料
※ダム工学会賛助会員(http://www.jsde.jp/link/link_11sanjyo.htm)
に所属している方は、ダム工学会員扱いとなります。
(ただし、集合会場まで及び解散場所後の交通費は各自負担)
その他、昼食費として、参加費以外に別途 1,500 円のご準備をお願い申し上げます。なお、おつりが無いよう、ご準備頂けると助かります。
 - ・ **主催** 一般社団法人 ダム工学会
 - ・ **共催** (公社)土木学会岩盤力学委員会
 - ・ **後援** (一財)日本ダム協会、ダム工事総括管理技術者会
- 問い合わせ先** ダム工学会 活性化推進小委員会 東北ブロック幹事会事務局
八千代エンジニアリング(株)北日本支店 権神 侑貴
TEL. 022-216-5752

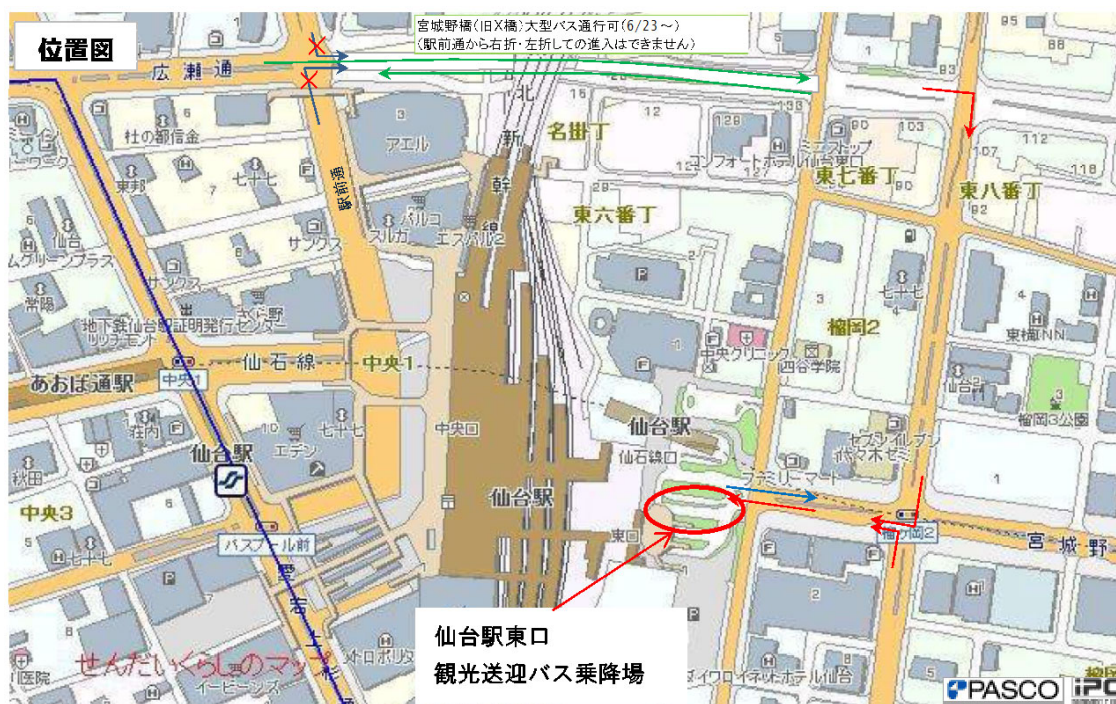
FAX. 022-267-2451 E-mail. dam-eng-tohoku2023@yachiyo-eng.co.jp

募集内容

- ・ 募集人数 23名 (ダム工学会員及び非会員 定員になり次第締切り)
- ・ 申込期限 **令和5年10月13日(金)午後5:00**
- ・ 申込方法 ダム工学会HPより、所定事項をご記入のうえ申し込み願います。
- ・ 申込先 ダム工学会HP

<https://forms.gle/a5msjGAtqxHe4jE98>

1. 集合場所 令和5年10月30日(月)7:45 仙台駅東口バスプール(下図参照)



当日緊急連絡先:090-7124-0152 (権神 侑貴)

2. 解散場所 令和5年10月30日(月)20:00ごろ 仙台駅東口 バスプール
3. 用意するもの 作業服(又はそれに準ずる服装)、雨天の際は雨具
(注)長靴、ヘルメットは可能な限り持参ください。ご準備できない場合は、貸し出しますので、申し込みの際にご記入ください。
4. 留意事項 個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本といたしますが、手先の消毒液とマスクは車内に準備いたします。

行 程

時 間	内 容	備 考
07:45	【集合】 仙台駅東口貸切バス駐車場	
08:00~11:00 (3時間00分)	出発・移動(3時間00分) ※前沢SAで途中休憩/9時30分~40分 ※道中に委員によるダム講習会 ※仙台宮城IC-十文字IC	
11:00~11:15	【成瀬ダム工事事務所到着】 住所：秋田県雄勝郡東成瀬村田子内宮田字97-1	トイレ休憩
11:15~11:30	JV事務所へ移動(15分)	
11:30~11:45	成瀬ダム工事の概要説明	
11:45~12:30 (45分)	昼食 ・仕出し弁当 借用者保護具受け取り	JV事務所
12:40~13:00	移動(20分)	
13:00~15:30 (2時間30分)	成瀬ダム施工現場見学 住所：秋田県雄勝郡東成瀬村椿川	
15:30~16:00	JV事務所へ移動(20分)、トイレ休憩(10分) 借用者保護具返却	
16:00~16:30	移動(30分)	
16:30~16:50	土産休憩(20分)	道の駅 十文字
16:50~19:50 (3時間00分)	出発・移動(3時間) ※前沢SAで途中休憩/17時30分~40分 ※十文字IC-仙台宮城IC	
19:50	【仙台駅東口】 到着・解散	

※見学会は台風等荒天ではない限り雨天でも実施します。

※中止の場合は、令和5年10月27日(金)PM1:00までに参加者宛に事務局より連絡いたします。

※見学コースは現場状況により変更があります。

※本研修会は継続教育(CPD)プログラムとして、公益社団法人土木学会 技術推進機構より認定されています。(2.5単位)

当日参加証明書をお渡ししますので、ご自身で登録お願いいたします。

成瀬ダム現場行程

場所	時間	内容	備考
①	13:00 ~13:30	DX ラボ ・最新の施工技術紹介	堤体JV
②	13:35 ~14:00	右岸天端 ・工事全体説明	堤体JV
③	14:15 ~14:30	原石山展望台 ・原石山施工状況説明	モータープール~ 原石山JV
④	14:40 ~14:55	CSG プラント ・CSG 製造システム説明	堤体JV
⑤	15:00 ~15:15	骨材プラント ・骨材製造システム説明	(原石山JV)
⑥	15:25 ~15:30	上流展望台 ・質疑応答	後片付け

※各場所の移動時間含む



図-現場見学ルート

ダム工学会活動に関する主旨（ダム工学会設立趣意書より抜粋）

ダム工学会は、国内における関連学協会はもとより、国際的な学協会及び研究機構との連携を図り、国際的な研究交流と協力においても先導的役割を果たすとともに、学者、研究者のみならず官界、民間の技術者にも広く参加・協力を求め、技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元を目指す。

以上の趣旨に基づき、本学会は、

1. 学際的かつ総合的研究を重視する。
2. 新技術の開発・応用など、創造的、先導的な研究を重視する。
3. 学際問題への適用を図るために、学、官、民の研究者、技術者の交流を促進する。
4. 国際的な交流と協力を積極的に図る。

を4つの柱として、ダム工学研究の向上発達を図ることを目的とする。具体的には、次のような活動を予定している。

1. 学術講演会、シンポジウム、現地見学会などの実施
2. 学会誌「ダム工学」の発行
3. ダム工学に関連する国内外の研究活動、会議等に関する情報の収集と伝達
4. 特定研究テーマに関する研究部会活動

(いくつかの研究部会を設け、横断的研究ならびに学、官、民の交流を推進する。)

ダム工学会地区活動について

平成17年6月20日開催のダム工学会第31回理事会において、地域ごとに学・官・民が情報交換できる機会を多く設けるため、ダム工学会の各地区活動を積極的に行うことが了承されました。

具体的には、各地区において現場見学会や技術検討会の開催等を行うことにより、地方在住の学・官・民の交流による情報交換、或いはダム工学の活性化を深めていくものです。